

施工説明書

リビングライコン

品番：NQ28752W NQ28752S
NQ28751W NQ28751S
NQ28732W NQ28732S

本器の取り付けには電気工事士の資格が必要です。必ず専門業者の方が施工してください。

もくじ

安全上のご注意	2
施工上に関するお知らせ	3
各部の名称と部品確認	3
適合負荷	4
システム構成	5
配線方法	5
施工前のご確認	9
施工方法	10
負荷切替スイッチの設定	12
教えて！Q&A	13
故障かな？と思ったら	16

工事店様へのお願い

正しく施工するために必ずお読みください。
施工後、必ずお客様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「障害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。



してはいけない内容です。



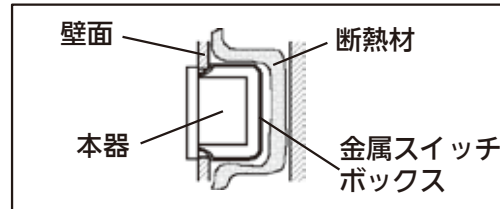
実行しなければならない内容です。

警告

- 断熱材（防音材等の断熱効果のあるものを含む）を本器に直接かぶせた状態での施工はしない
火災のおそれがあります。



- ◎断熱施工の場合は下図のように
金属スイッチボックスを使用してください。



禁止

- 本体の分解や改造、および修理をしない
火災、感電のおそれがあります。
- 浴室など湿気の多いところに取りつけない
火災、感電のおそれがあります。
- 屋外には取りつけない
火災、感電のおそれがあります。
- リビングライコンの出力にコンセントを接続しない
火災のおそれがあります。
- リビングライコンの出力にシーリングファンなどのモータを接続しない
火災のおそれがあります。

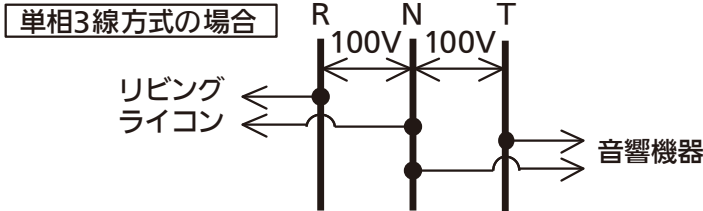


必ず守る

- 施工は、施工説明書にしたがい確実にこなす
火災、感電のおそれがあります。
- 適合負荷（P.5）を最大負荷容量または最大接続台数以下で使用する
火災、故障のおそれがあります。
- 説明書に記載された電線を使用し、被覆は本体裏のストリップゲージにあわせてむき
電線穴に奥まで差し込む
指定外電線の使用や不十分な結線および電線の先が曲がっている場合は
異常発熱、火災のおそれがあります。
- 必ず壁埋込で施工する
指定以外の場所に施工されると異常発熱、火災のおそれがあります
- 接続負荷に対して負荷切替スイッチ（P.12）を正しく設定する
本器や照明器具を破損させたり、火災のおそれがあります。

施工上に関するお知らせ

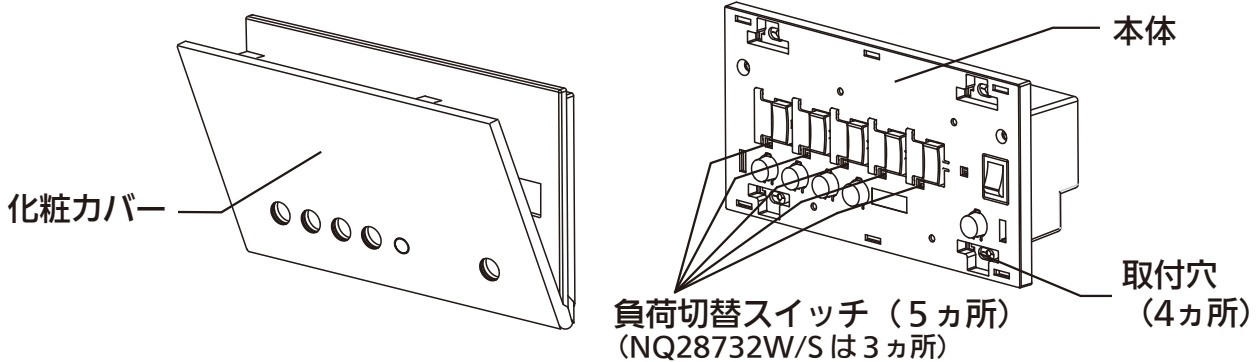
- 負荷出力は決して短絡させないでください。短絡しますと一瞬で本器が破壊されます。
- 負荷線と信号線を間違えないように確認してから結線してください。間違えて結線されますと照明器具が故障する可能性があります。
- 本器は単相100V専用です。
- 本器には雑音防止装置を内蔵していますが、ラジオや各種音響機器に雑音障害を及ぼす場合がありますので音響機器側には下記の対策を実施してください。
 - ・ ライコンと音響機器とは別電源にしてください。または電源を別相にしてください。
 - ・ ライコンと音響機器やアンテナ、アース線とは1m以上離してください。
 - ・ 音響機器の器具アースを確実にとってください。



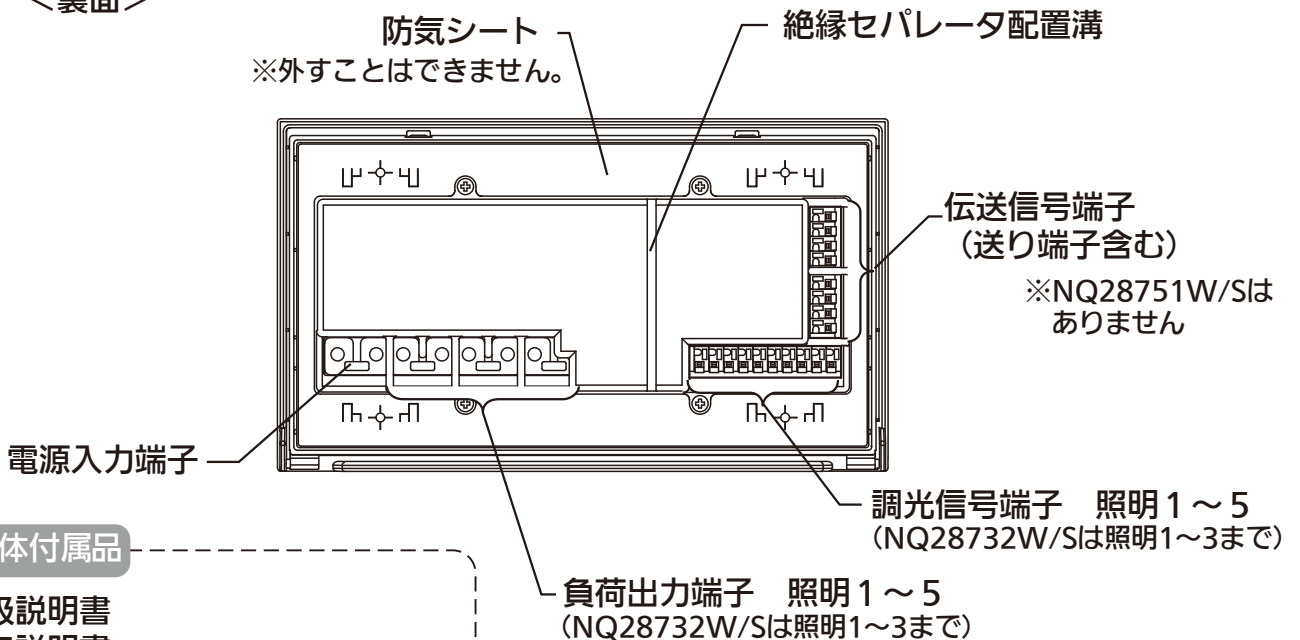
- 電源が単相3線式の場合で、消費電力が1kW以上の機器がある場合はその機器とは電源を別相にしてください。電源波形にひずみが生じ照明がちらつく場合があります。
- 高気密を確保するために必ず加工穴寸法を守り、防気シートが曲がらないように施工してください。
- ケースに必要な以上に強い衝撃を与えないでください。また、割れやひびが入ったまま施工されますと安全性能が保てなくなります。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください



<裏面>



本体付属品

- 取扱説明書
- 施工説明書
- 注意シート
- 表示シール

- シーンや接続した照明をわかりやすくする際にご使用ください。

※図は NQ28752W/S です。

適合負荷

下記の負荷を接続することができます。正しく使用するために負荷切替スイッチ（P.12）を必ず設定してください。

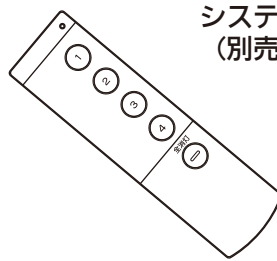
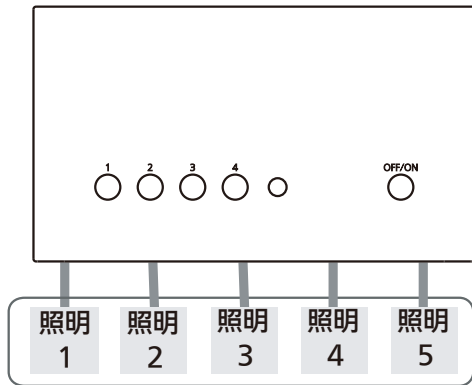
ランプ種類 [ランプ品番]		起動方式 ^{※4}	1回路あたりの負荷容量	あかりの切替	
白熱灯			200Wまで	ON/OFF 調光	
トランス (12V)	ワイヤリングシステム (12V) 電源ユニット LGK00151 電子ダウントランス HNK00844				
直管 蛍光灯	Hf蛍光灯 [FHF] 明るさフリー ^{※1}	PX, PY, PD, EDH	200W (2A) まで (ただし明るさフリー 8台まで)	ON/OFF 調光	
	シームレスラインランプ明るさフリー [FRT] ^{※1}	EYH			
	Hf蛍光灯、Hfスリム蛍光灯 [FHF]	E		ON/OFF	
	シームレスラインランプ [FRT]				
直管蛍光灯 [FL]					
丸形 蛍光灯	ツインパルック (プレミアム) 蛍光灯 [FHD]	E	20形以下 5台まで 21~39形 3台まで 40~100形 1台まで	ON/OFF	
	丸形スリム蛍光灯 [FHC]				
	丸形蛍光灯 [FCL]				
	スパイラルパルック蛍光灯 [FHSC]				
パルックボール (スパイラル、プレミアム、プレミアQ ^{※3})			W数に関わらず6灯まで	ON/OFF	
LED	LED明るさフリー	位相制御式 (2線式) ^{※6}	LC ^{※5} 、LG	150W (1.5A) かつ10台まで	ON/OFF 調光
		信号線式 ^{※1}	LD、LV、LZ、 LX ^{※7} 、LY ^{※7}	150W (1.5A) かつ15台まで	
	LED器具 (出力固定型) ^{※2}		LE	2~150W (0.02A~1.5A) まで	ON/OFF
	LED電球 (Panasonic製)			8灯まで	
全回路の合計最大負荷容量 : 400W (4A) ^{※8}					

- ※1 調光には調光信号線が必要です。調光信号は容量制限があります。蛍光灯は5.0mA/台、LEDは2.6mA/台として全回路合計が100mA以下でご使用ください。
- ※2 LED器具の下記の品番は1回路あたり8台までとなります。
 ダウンシーリング : LGB51685LE1、LGB51675LE1、LGB51684LE1、LGB51674LE1
 ブラケット : LGB81504LE1、LGB81503LE1
- ※3 プレミアQは点灯初期 (クイックランプ点灯時) の消費電力は約30Wなるため、最大負荷計算時は1台当たり30W (0.3A) としてください。
- ※4 起動方式は、基本的にアルファベットの後ろの数字が『1』の照明器具をご使用ください。(例: PX1、LE1) 『7 (電圧100V/200V)』や『9 (電圧100~242V)』を使う場合は、必ず入力電源をAC100Vでお使いください。
- ※5 1回路につき1台調光インターフェースユニット (NK28900) を必ず接続してください。
- ※6 LED明るさフリーの位相制御式 (2線式) の照明器具は下記にご注意ください。
 ・調光上限及び、調光下限で明るさの変化しない範囲が他の器具より多くなります。
 ・調光下限でチラツキが発生する場合があります。その場合は少し明るめでご使用ください。
 ・他機器 (同相電源の照明以外の高容量負荷など) の影響で電源電圧が変動すると調光点灯時に明るさが若干変化することがありますが異常ではありません。
 ・複数灯を同時に調光した場合、消灯する明るさにバラツキが生じることがありますのでご注意ください。
- ※7 初期照度補正機能により調光操作器のレベル設定部 (ボタン、ツマミ) で調光できる範囲が狭くなります。レベル設定部 (ボタン、ツマミ) の下限・上限域では操作しても明るさは変わりません。
- ※8 最大負荷容量を超えると故障のおそれがあります。

- リモコン照明器具、センサ機能付照明器具、調光機能付照明器具は接続できません。また、照明器具以外 (シーリングファン・電磁開閉器など) も接続できません。
- 1回路には必ず同じランプ種類 (起動方式) を接続してください。
- 他社製の蛍光灯やLEDの照明器具、電子ダウントランスは接続できません。
- 白熱灯以外 (蛍光灯およびLED器具) の負荷容量は必ず、入力電流 [A] の合計で計算してください。

システム構成

本器は離れた箇所からでもシステムリモコン送信機（別売）を使用して操作することができます。
また、ブースタ（別売）を接続することで負荷容量を増やすことができます。



システムリモコン送信機
(別売 HK9394)

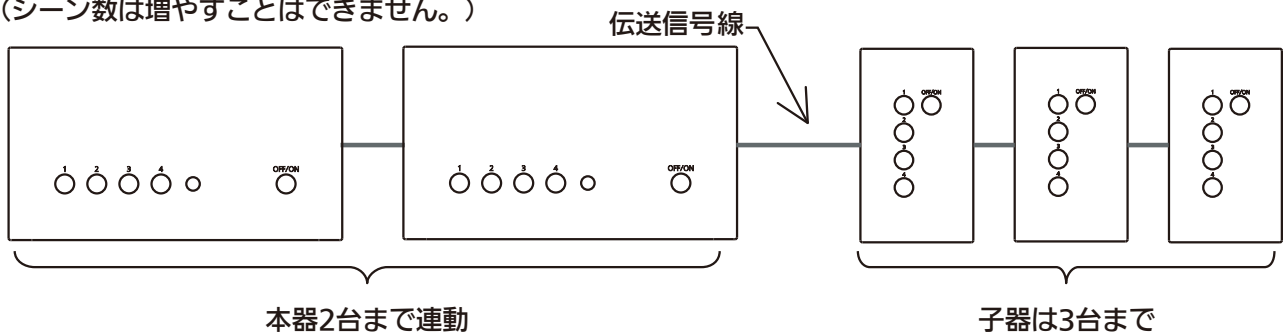
※NQ28732W/Sは照明1~3まで

＜適合ブースタ＞（負荷容量を増やせます。）

- リビングライコン用ブースタ1回路マルチタイプ NQL10051W/S
- ブースタ1回路タイプ（連続調光インバータ用） NQL10021
- ブースタ1回路タイプ（白熱灯用） NQL10001

【マルチ高機能調光タイプのみ（NQ28752W/S、NQ28732W/S）】

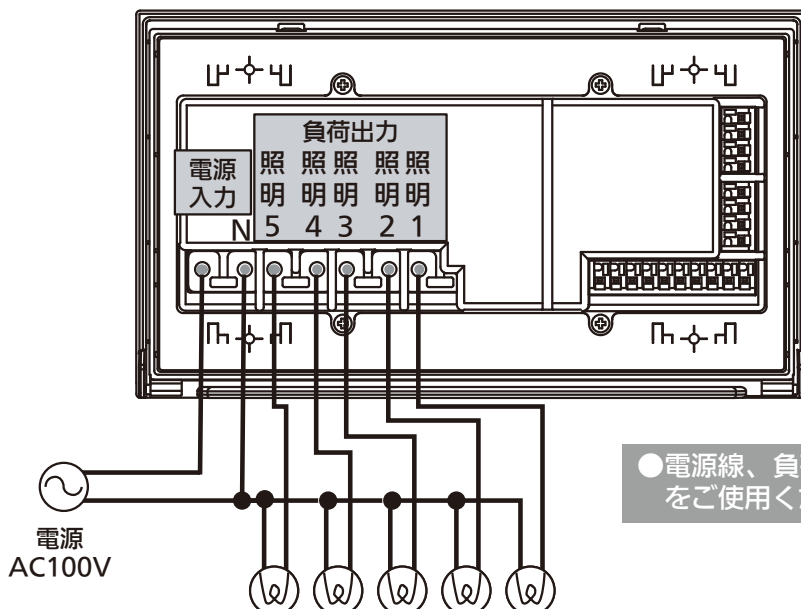
本器2台を伝送信号線で接続し、連動させることで回路数を増やすことができます。
また、シーン選択子機（別売）を接続することで他箇所からの操作をすることができます。
(シーン数は増やすことはできません。)



配線方法

配線方法は接続される負荷によって異なります。各負荷の結線図を参考に正しく配線してください。

■ 白熱灯、ワイヤリングシステム電源ユニット、電子ダウントランスの結線図

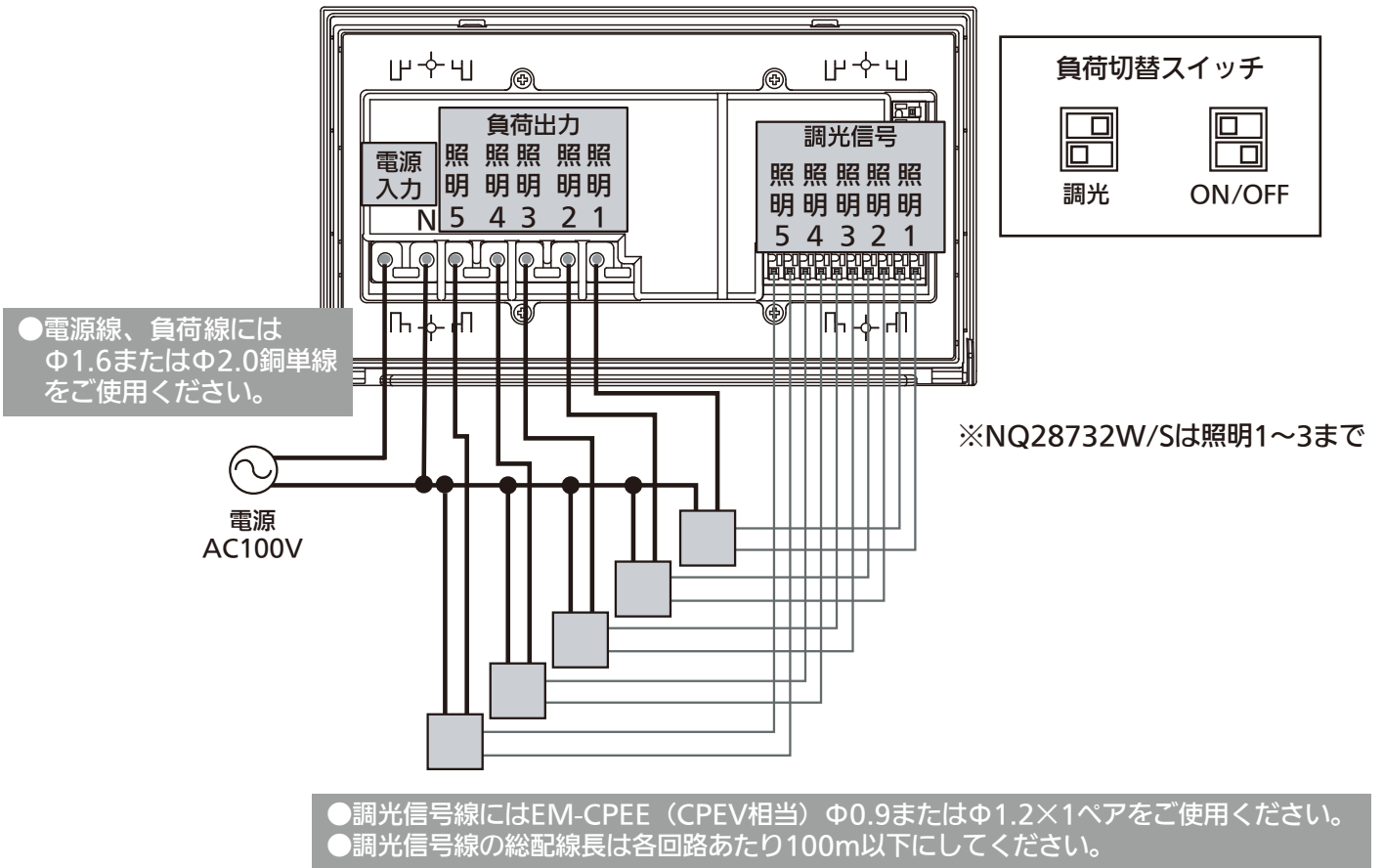


※NQ28732W/Sは照明1~3まで

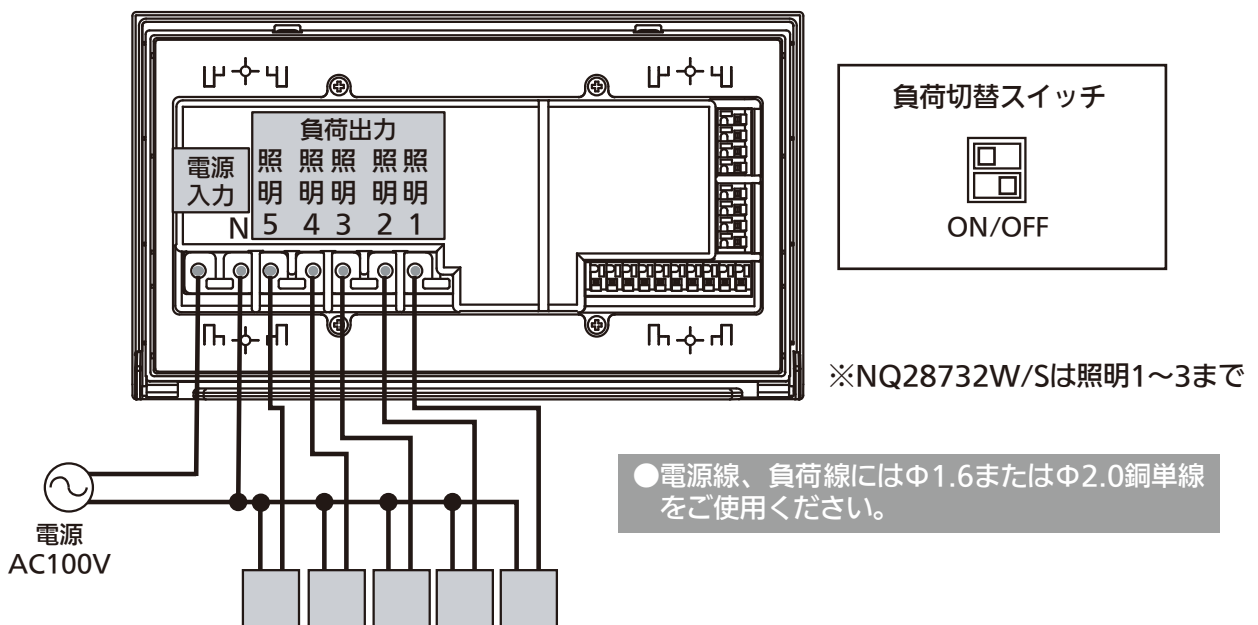
●電源線、負荷線にはΦ1.6またはΦ2.0銅単線
をご使用ください。

■ Hf蛍光灯 [FHF] 明るさフリー（起動方式：PX、PY、PD、EDH）、シームレスランプ明るさフリー [FRT]（起動方式：EYH）の結線図例

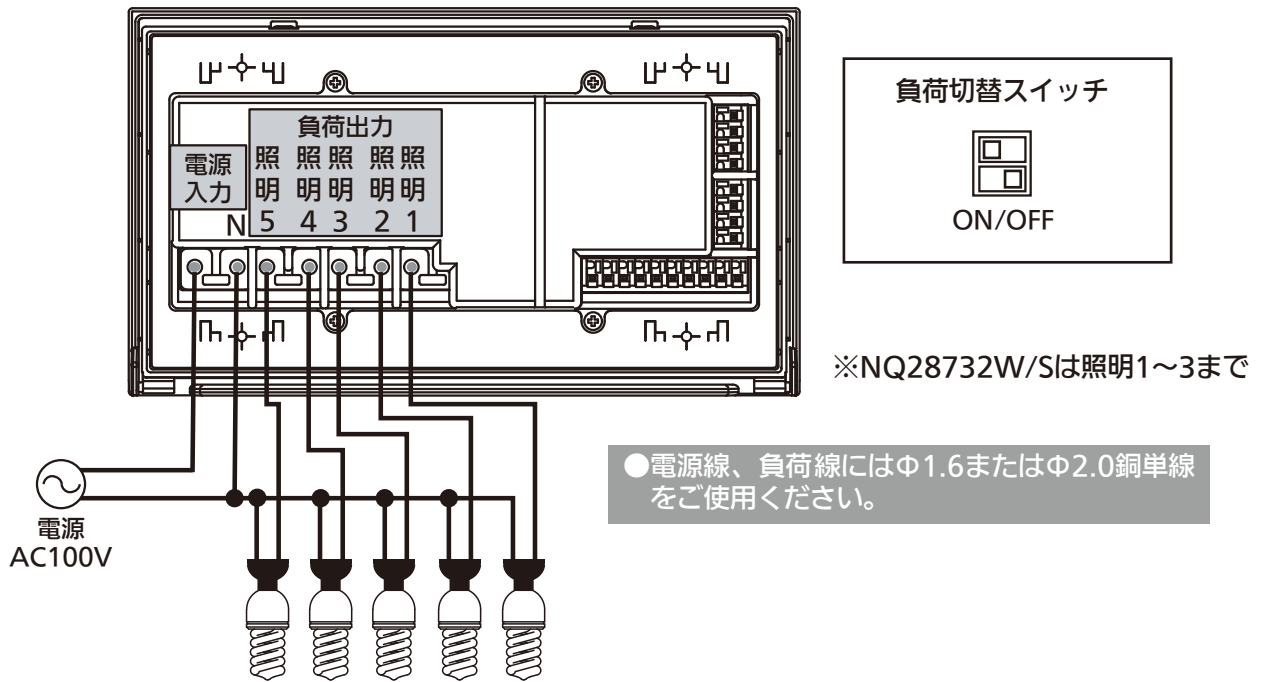
●調光するには調光信号線を照明器具に接続する必要があります。



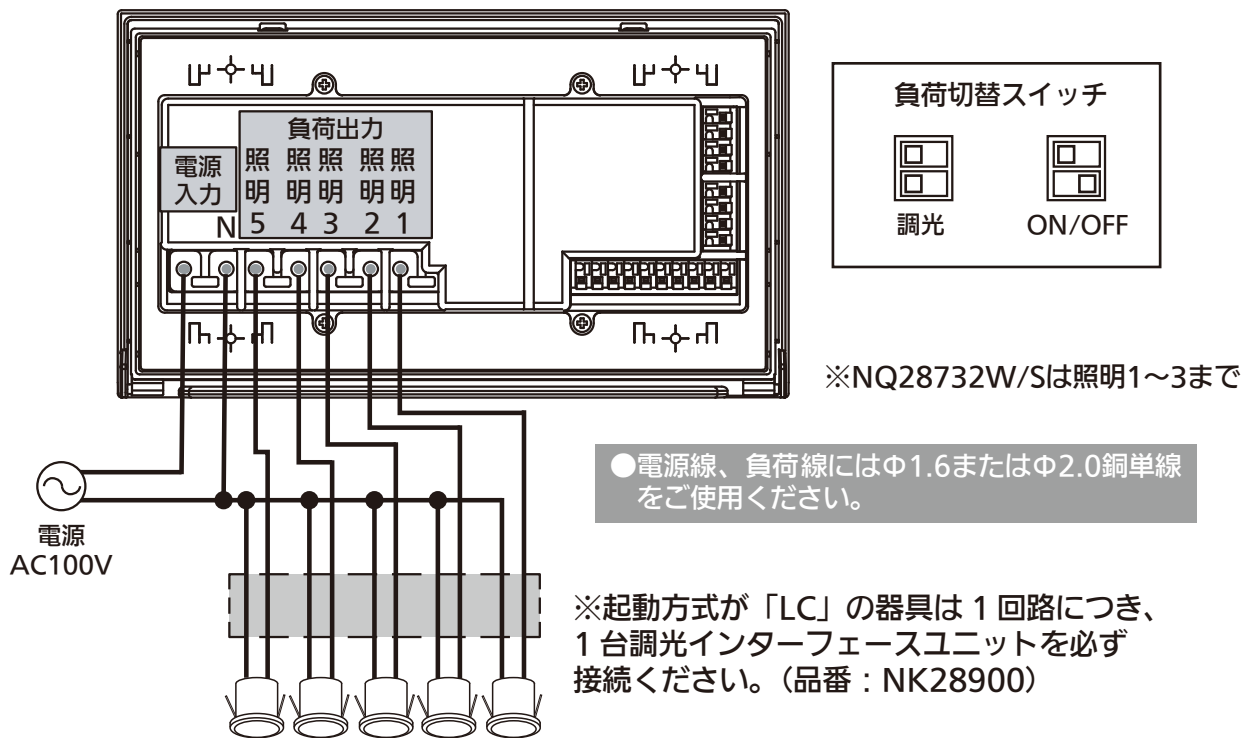
■ Hf蛍光灯・Hfスリム蛍光灯 [FHF]、シームレスラインランプ [FRT]、直管蛍光灯 [FL]、ツインパルック（プレミア）蛍光灯 [FHD]、丸型スリム蛍光灯 [FHC]、丸形蛍光灯 [FCL]、スパイラルパルック蛍光灯 [FHSC] の結線図例



■ パルックボール（スパイラル、プレミア、プレミアQ）の結線図例

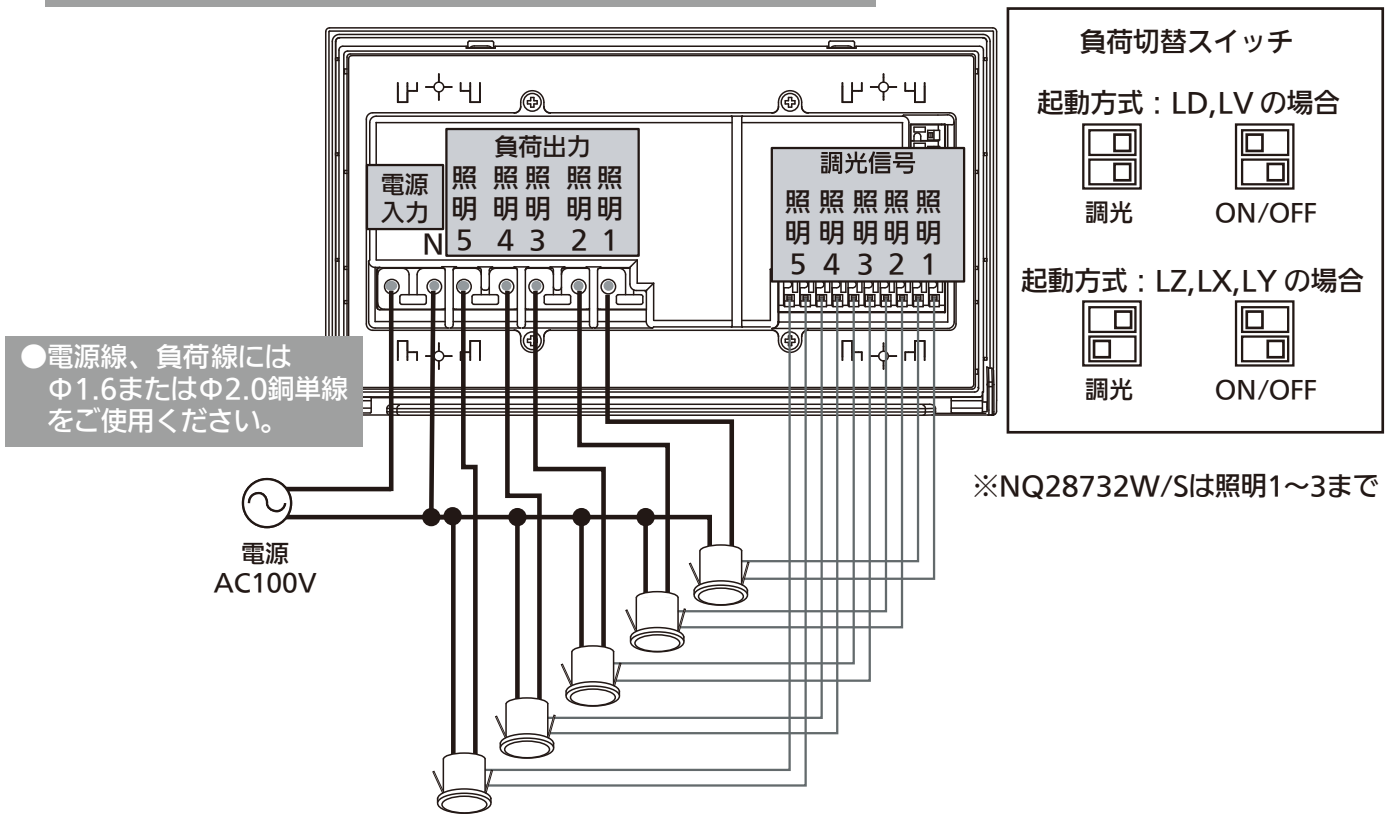


■ LED明るさフリー位相制御方式（2線式）（起動方式：LC、LG）の結線図例



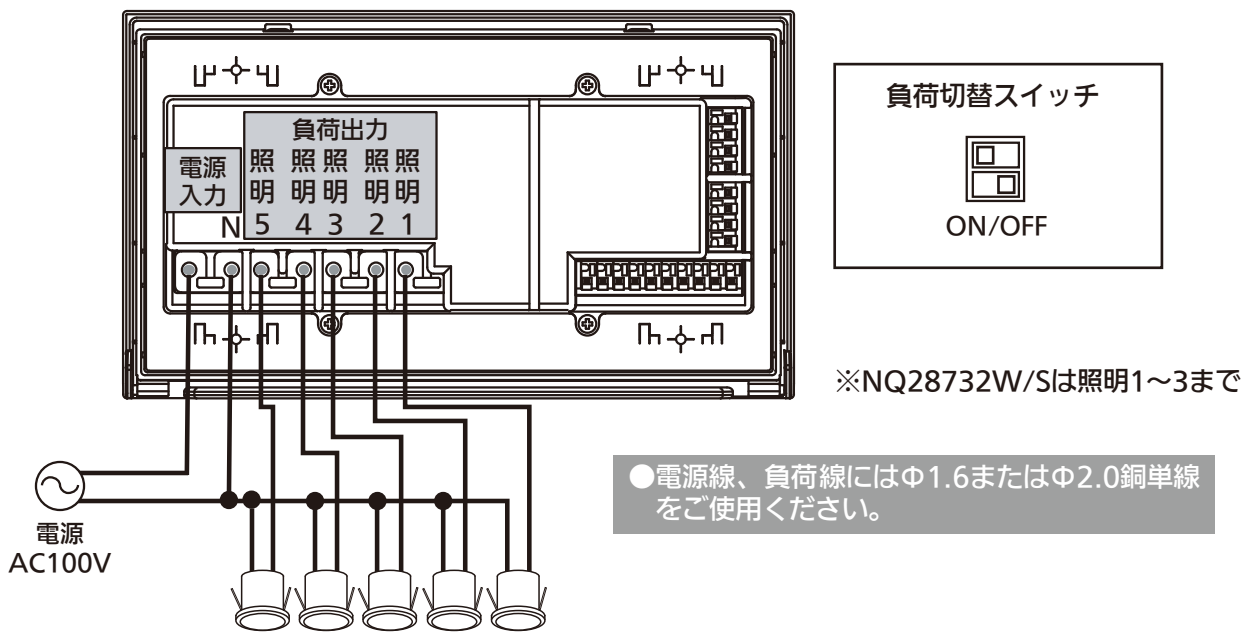
■ LED明るさフリー信号線式（起動方式：LD、LV、LZ、LX、LY）の結線図例

●調光するには調光信号線を照明器具に接続する必要があります。



●調光信号線にはEM-CPEE（CPEV相当）Φ0.9またはΦ1.2×1ペアをご使用ください。
●調光信号線の総配線長は各回路あたり100m以下にしてください。

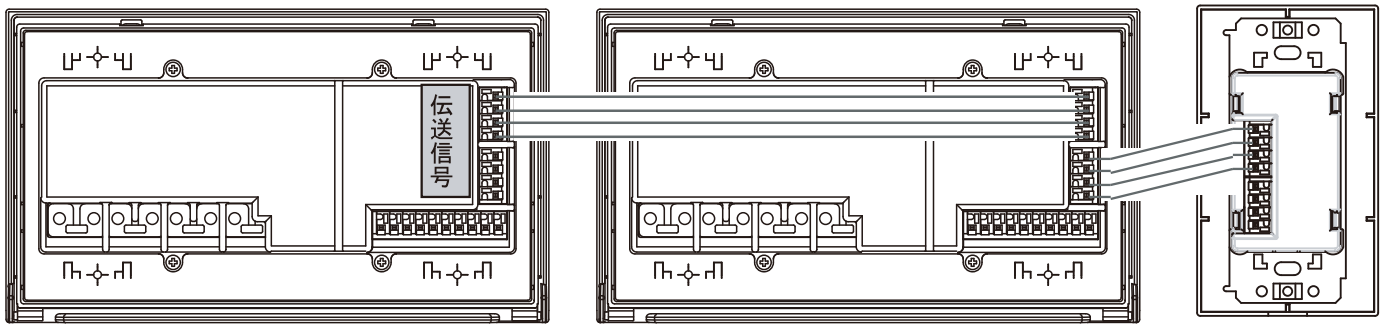
■ LED電球（Panasonic製）、LED器具（出力固定型）の結線図例



●電源線、負荷線にはΦ1.6またはΦ2.0銅単線をご使用ください。

※必ず LED 電球（Panasonic 製）をお使いください。

■ 子器または2台連動で使用する場合の結線図例
マルチ高性能調光タイプ (NQ28752W/S、NQ28732W/S) のみ



- 伝送信号線にはEM-CPEE (CPEV相当) φ0.9またはφ1.2×2ペアをご使用ください。
- 伝送信号線の総配線長は50m以下にしてください。
- 伝送信号線は1台ずつ送り配線 (一筆書き配線) で接続してください。
(途中で分岐して接続することはできません。)
- 本器 (NQ28752W/S、NQ28732W/S) 2台、子器3台まで接続可能です。

システム構成

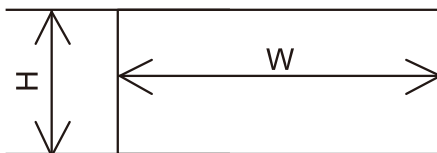
- 本器の取付にはスイッチボックスまたははさみ金具を使用してください。

・ JIS4コ用金属スイッチボックス (カバー付)
 <推奨品番: DS4914K (Panasonic製)>

・ はさみ金具7~18mm石膏ボード用
 <推奨品番: WN3993020 (Panasonic製)>

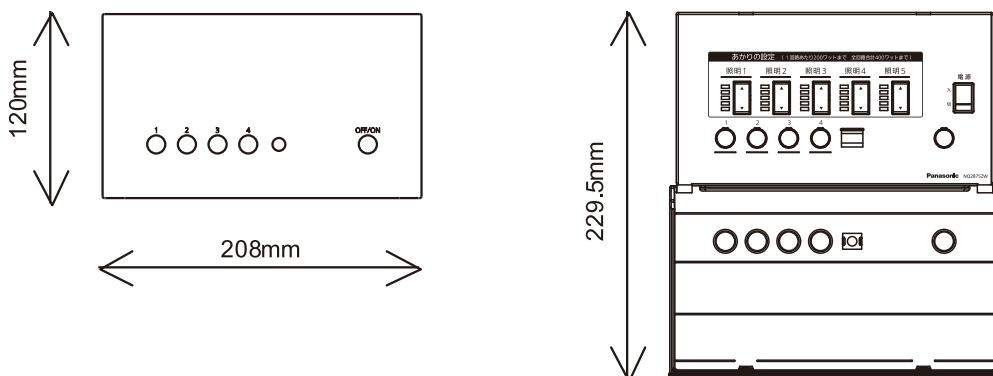
注) 浅型のスイッチボックスは、奥行きがないため
 樹脂製スイッチボックスは、放熱性が悪いため
 使用できません。

- 取付方法に対応した開口穴の寸法を空けてください。



	W	H
スイッチボックス取付	189 ⁺⁵ ₀	90 ⁺⁵ ₀
はさみ金具取付	189 ⁺⁵ ₀	95 ⁺⁵ ₀

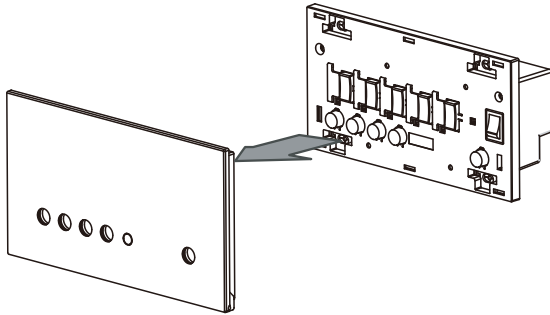
- 化粧カバーは下に開きますので本器の下に120mm以上のスペースを確保してください。



- 接続取付はできません。並べる場合は30mm以上間隔をあけてください。

施工方法

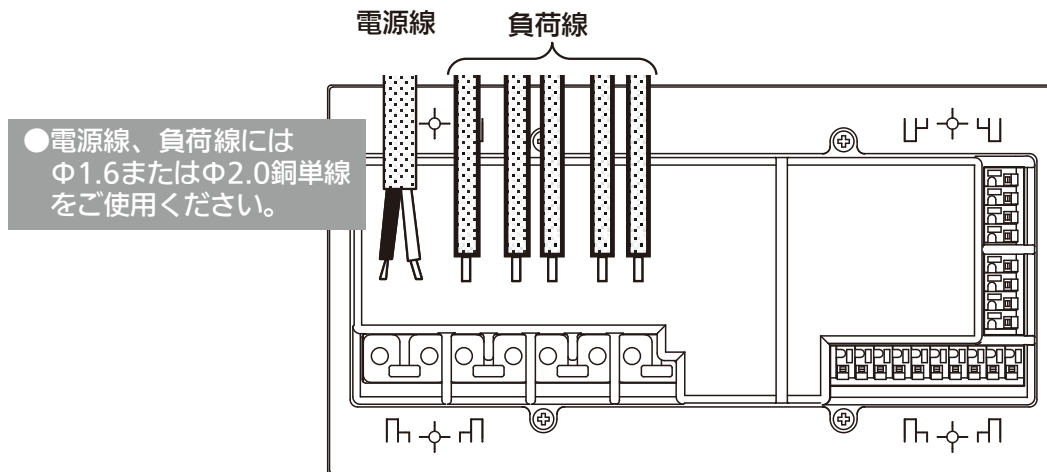
1 化粧カバーを外す



- ・化粧カバーの下部を持って手前に引っ張ると外れます。
(カバーを開いて引っ張りますとヒンジ部が壊れる場合があります。)

2 電源線と負荷線を接続する

本体背面のストリップゲージにあわせて電線被覆をむいて接続してください。



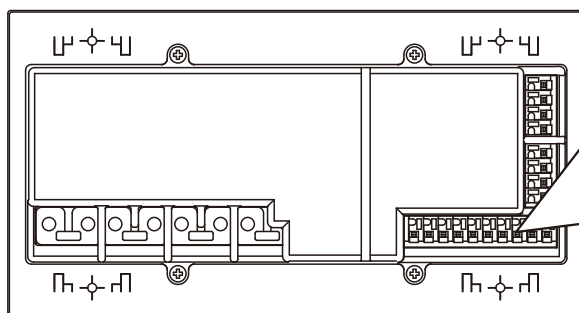
<ニュートラル線に関して>

- 本器にはニュートラル線が必要です。必ずニュートラル線を電源端子のN側に接続してください。
- 照明器具からのニュートラル線は外部で接続する必要があります。接続にはジョイントボックスを使用してください。
(金属スイッチボックス使用時はボックス内部で接続することはできません。)
- ニュートラル線は1ヶ所でまとめて接続してください。
外来ノイズによるチラツキの原因となります。

3 調光信号線を接続する

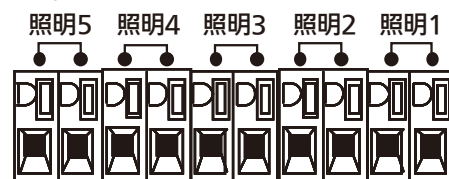
<Hf蛍光灯明るさフリー、シームレスランプ明るさフリー、LED明るさフリー（信号線式）使用時のみ>

本体背面のストリップゲージにあわせて電線被覆をむいて接続してください。



- 調光信号線にはEM-CPEE (CPEV相当) Φ0.9 またはΦ1.2×1ペアをご使用ください。
- 調光信号線の総配線長は各回路あたり100m以下にしてください。

負荷端子に記載されている「照明1、2、3・・・」に対応しているので該当する照明器具に接続してください。

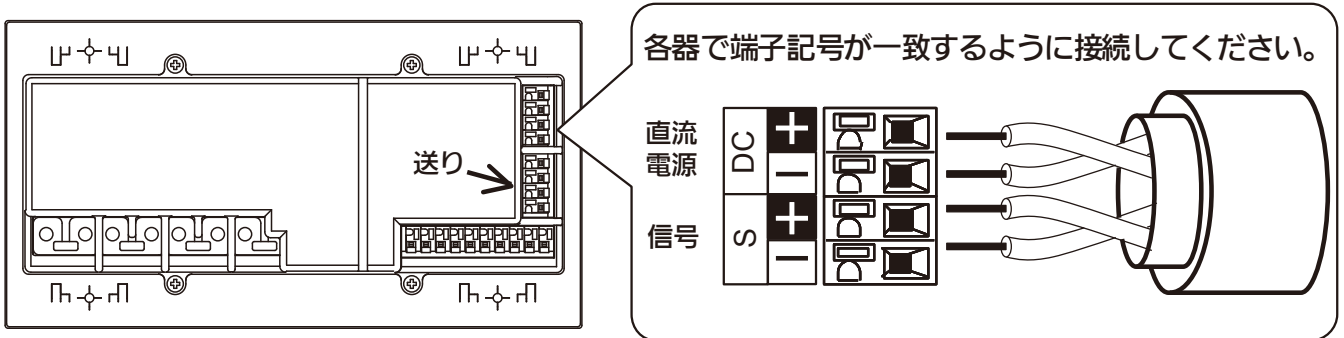


調光信号に極性は
ありません。

4 伝送信号線を接続する (マルチ高機能調光タイプ (NQ28752W/S、NQ28732W/S))

<子器または本器を2台連動して使用する場合に限ります。>

本体背面のストリップゲージにあわせて電線被覆をむいて接続してください。

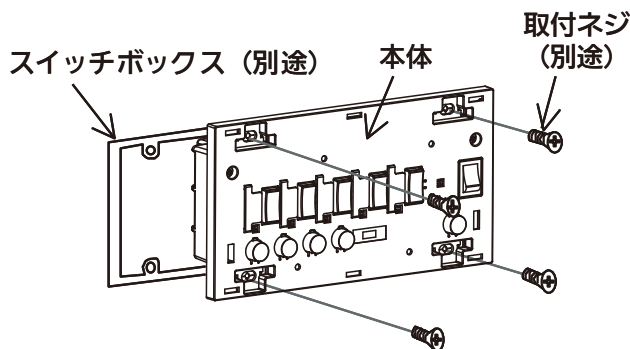


- 伝送信号線にはEM-CPEE (CPEV相当) φ0.9またはφ1.2×2ペアをご使用ください。
- 伝送信号線の総配線長は50m以下にしてください。
- 伝送信号線は1台づつ送り配線 (一筆書き配線) で接続してください。
(途中で分岐して接続することはできません。)
- 本器 (NQ28752W/S、NQ28732W/S) 2台、子器3台まで接続可能です。

5 本体を取付ける

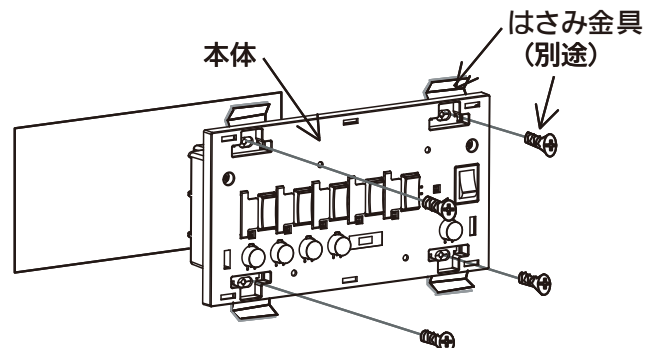
■ スイッチボックス取付の場合

本体をM4皿ネジ (別途) でスイッチボックスに取付けます。



■ はさみ金具取付の場合

はさみ金具 (別途) を使って本体を壁に埋め込んで取付けます。



- 壁材にメタルラス、ワイヤラスなど金属が含まれる場合はその金属部に触れないように施工してください。
- スイッチボックス取付時は電源線・負荷線と調光信号線・伝送信号線は絶縁セパレータ (別売WV2450) など堅ろうな隔壁を設けて絶縁してください。

6 負荷切替スイッチを設定する

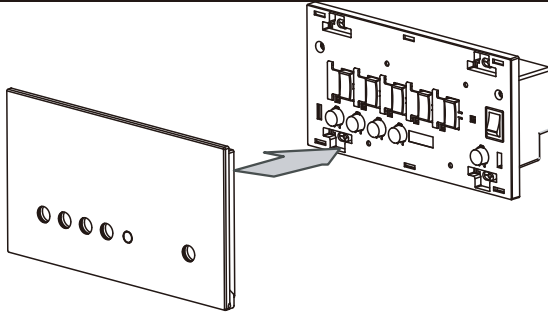
接続される照明器具によって、負荷切替スイッチを設定する必要があります。
詳細はP.12を参照してください。

7 リモコン設定スイッチを設定する

<リモコンを複数使用する場合や照明器具のリモコンと干渉する場合があります。>

詳細は「取扱説明書」のP.15を参照してください。

8 化粧カバーを取付ける

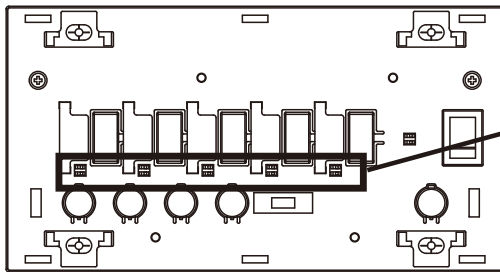


ツメで勘合していますので
しっかりとはめてください。

負荷切替スイッチの設定

■負荷切替スイッチの場所

負荷切替スイッチは化粧カバーを外した状態で、下図の位置に配置されています。



負荷切替
スイッチ

スイッチは精密ドライバー
など先のとがったもので
変更してください。

■適合負荷に対する負荷切替スイッチの設定

ランプ種類 [ランプ品番]		負荷切替スイッチの設定	
白熱灯		調光 <input type="checkbox"/> ON/OFF <input type="checkbox"/>	
トランス (12V)	ワイヤリングシステム (12V) 電源ユニット LGK00151 電子ダウントランス<HNK00844>	調光 <input type="checkbox"/> ON/OFF <input type="checkbox"/>	
直管 蛍光灯	Hf蛍光灯 [FHF] 明るさフリー	調光 <input type="checkbox"/> ON/OFF <input type="checkbox"/>	
	シームレスラインランプ明るさフリー [FRT]	調光 <input type="checkbox"/> ON/OFF <input type="checkbox"/>	
	Hf蛍光灯、Hfスリム蛍光灯 [FHF]	ON/OFF <input type="checkbox"/>	
	シームレスラインランプ [FRT]		
直管蛍光灯 [FL]			
丸形 蛍光灯	ツインパルック (プレミア) 蛍光灯 [FHD]	ON/OFF <input type="checkbox"/>	
	丸形スリム蛍光灯 [FHC]		
	丸形蛍光灯 [FCL]		
	スパイラルパルック蛍光灯 [FHSC]		
パルックボール (スパイラル、プレミア、プレミアQ)			
LED	LED明るさフリー	位相制御方式 (2線式) (起動方式: LC、LG)	調光 <input type="checkbox"/> ON/OFF <input type="checkbox"/>
		信号線式 (起動方式: LD、LV)	調光 <input type="checkbox"/> ON/OFF <input type="checkbox"/>
		信号線式 (起動方式: LX、LY、LZ)	調光 <input type="checkbox"/> ON/OFF <input type="checkbox"/>
LED電球 (Panasonic製)		ON/OFF <input type="checkbox"/>	
LED器具 (出力固定型)		ON/OFF <input type="checkbox"/>	

●負荷切替スイッチは変更後すぐに設定が反映されます。(電源の再投入などは必要ありません。)

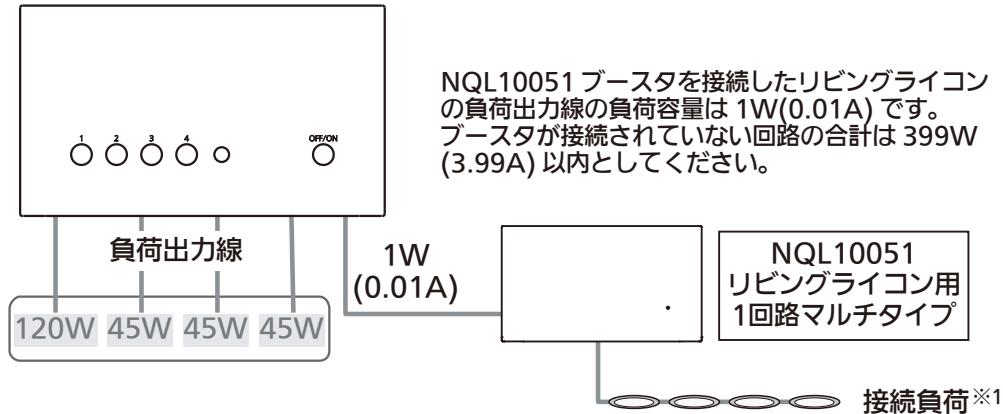
Q1

1回路につなげる負荷容量を増やすことはできますか？

- ブースタ（別売）を使用することで1回路の負荷容量を増やすことができます。
1回路に1台まで、全ての回路に接続できます。接続方法は各ブースタの取説などをご参考ください。

■リビングライコン用ブースタ1回路マルチタイプ NQL10051を使用する場合

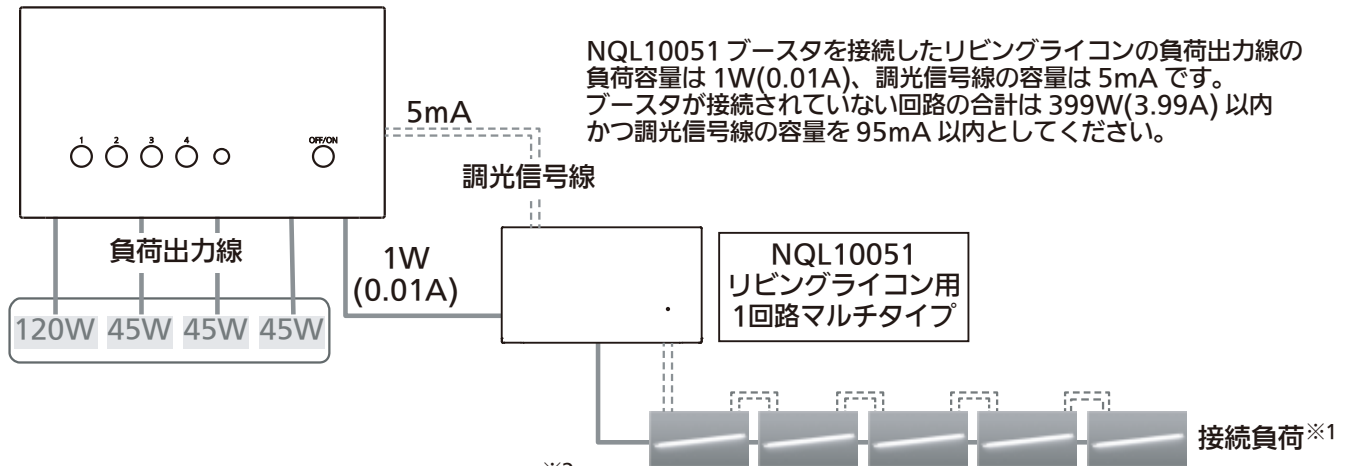
<LED明るさフリー位相制御方式（2線式）（起動方式：LC、LG）・LED電球・パルックボール・ON/OFF器具（LED、蛍光灯）・白熱灯の負荷容量を増やす場合>



- ・リビングライコンの負荷切替スイッチの設定 ※2

ブースタに接続されるランプ種類 [ランプ品番]		負荷切替スイッチの設定
白熱灯、電子トランス		調光 <input type="checkbox"/> ON/OFF <input type="checkbox"/>
LED	LED明るさフリー 位相制御方式（2線式） （起動方式：LC、LG）	調光 <input type="checkbox"/> ON/OFF <input type="checkbox"/>
ON/OFF器具（LED、蛍光灯）		ON/OFF <input type="checkbox"/>
パルックボールプレミア、LED電球（Panasonic製）		ON/OFF <input type="checkbox"/>

<LED（シンクロ調光）明るさフリー・蛍光灯明るさフリー（信号線式）の負荷容量を増やす場合>



- ・リビングライコンの負荷切替スイッチの設定 ※2

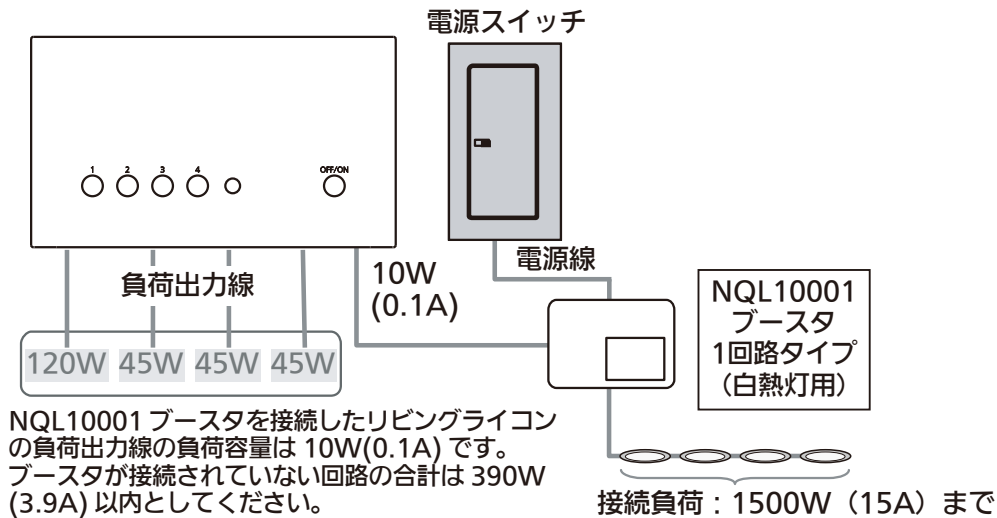
ブースタに接続されるランプ種類 [ランプ品番]		負荷切替スイッチの設定
直管 蛍光灯	Hf蛍光灯 [FHF] 明るさフリー	調光 <input type="checkbox"/> ON/OFF <input type="checkbox"/>
	シームレスラインランプ明るさフリー [FRT]	調光 <input type="checkbox"/> ON/OFF <input type="checkbox"/>
LED	LED明るさフリー 信号線式（起動方式：LD、LV）	調光 <input type="checkbox"/> ON/OFF <input type="checkbox"/>
	LED明るさフリー 信号線式（起動方式：LX、LY、LZ）	調光 <input type="checkbox"/> ON/OFF <input type="checkbox"/>



※1 接続負荷により負荷容量が異なります。ブースタの取説などで各負荷の容量をご確認ください。

※2 ブースタが接続されている負荷切替スイッチを設定する必要があります。

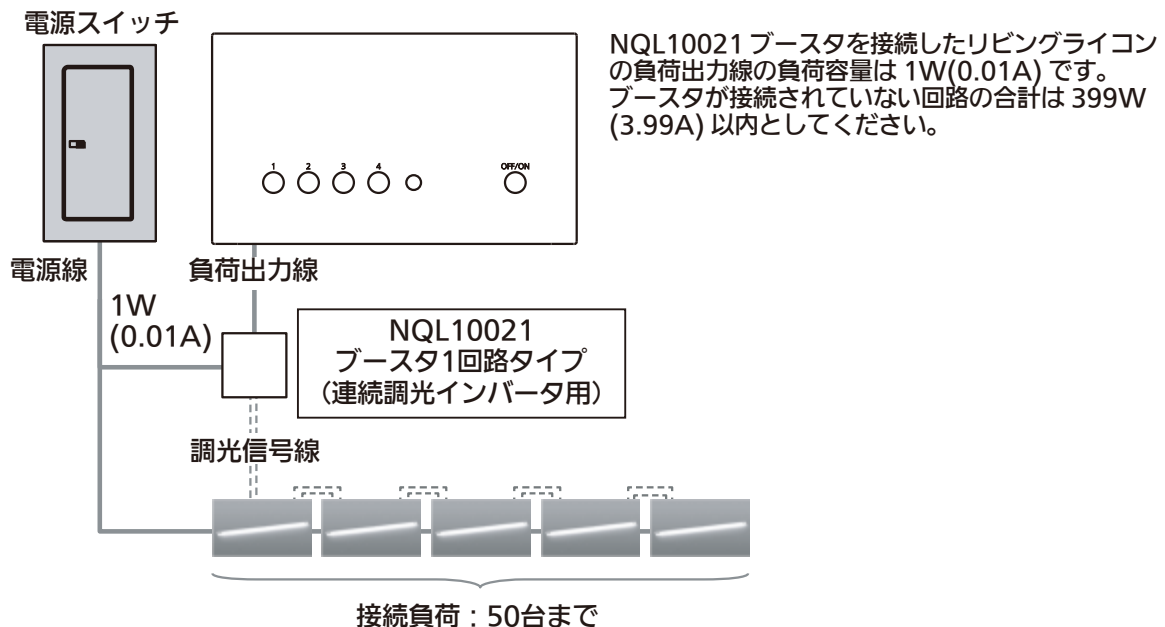
設定はブースタに接続されている負荷に合わせて設定してください。（詳細は P.12 をご参考ください。）


■ブースタ1回路タイプ（白熱灯用）NQL10001を使用する場合



- ブースタが接続される回路の「負荷切替スイッチ」を白熱調光  に設定してください。
- ブースタへの接続負荷は必ず壁スイッチを併用して別電源を使用してください。
- このブースタを接続することで直管蛍光灯器具を700W（7A）まで使用できます。
この時、ブースタを接続した回路の「負荷切替スイッチ」は必ずON/OFF  に設定してください。

■ブースタ1回路タイプ（連続調光インバータ用）NQL10021を使用する場合。



- ブースタが接続される回路の「負荷切替スイッチ」を白熱調光  に設定してください。
- ブースタへの接続負荷は必ず壁スイッチを併用して別電源を使用してください。
- ブースタのHf/PC切替スイッチを負荷にあわせて設定してください。
(詳細はブースタの取説などをご参考ください。)
Hf：Hf蛍光灯 [FHF] 明るさフリー
シームレスラインランプ明るさフリー [FRT]
LED明るさフリー信号線式（起動方式：LZ、LX、LY）
PC：LED明るさフリー信号線式（起動方式：LD、LV）

Q2

3路スイッチを使用することはできますか？

- 本器は3路仕様でないため使用することはできません。
多箇所からの操作される場合は、マルチ高機能調光タイプ（NQ28752W/S、NQ28732W/S）とシーン選択子器（NK28706W/S）を連動させてご使用ください。

Q3

リビングライコンへの電源にスイッチを入れることができますか？

- 可能です。
ただし、本体に主電源を切るスイッチが搭載されています。

Q4

白熱灯、蛍光灯、LEDをひとつの回路につないで調光できますか？

- できません。
白熱灯、蛍光灯、LEDそれぞれ調光の制御方式が異なります。回路を分けて使用してください。

Q5

2箇所から同一照明器具を調光することはできますか？

- できません。
照明器具1台に対して接続できるリビングライコンは1台です。

Q6

調光信号線は分岐配線することはできますか？

- 可能です。

Q7

伝送信号線は分岐配線することはできますか？

- できません。
必ずリビングライコンまたは子器にある送り端子を使用し、一筆書き配線で接続してください。

Q8

販売中止をしたリビングライコンで使用していた子器をつなげることはできますか？

- 使用することはできません。
子器との制御方式が異なるため互換性がありません。

故障かな?と思ったら

現象	考えられる原因	処置	参照
本体のLEDが点灯しない	電源が入っていない。	カバーをあけて、電源スイッチを「入」にする。	—
	電源線が正常に接続されていない。	電源線を再度結線しなおしてください。	—
	電源線を間違えて調光信号端子または伝送信号端子に接続して電源を入れた。	本器が壊れます。交換してください。	—
	負荷線を短絡している。	本器が壊れます。交換してください。	—
シーン1ボタンが点滅し続ける	接続されている負荷が容量を超えている。	負荷容量を範囲内にしてください。	取説 P.17
シーン2ボタンが点滅し続ける	調光信号線につながれている負荷が容量を超えている。	負荷容量を範囲内にしてください。	取説 P.17
	調光信号線が短絡している。	調光信号線の配線を見直してください。	
	調光信号線と伝送信号線が間違えて接続されている。	正しく結線しなおしてください。	
シーン3ボタンが点滅し続ける	本器が正常に起動していない。	電源を一旦切り、5秒以上待った後電源を再投入してください。	取説 P.18
点灯しない	電源線の「N」と「L」が間違えて接続されている。	正しく結線しなおしてください。	—
白熱灯・LED（起動方式：LC,LG）が調光できない	負荷切替スイッチが正しく設定されていない。	調光できない器具が接続されている負荷切替スイッチを設定しなおしてください。	P.12
蛍光灯・LED（起動方式：LD,LV,LZ,LX,LY）が調光できない	調光可能な蛍光灯またはLED器具が接続されていない。	調光可能な器具に交換してください。	P.4
	負荷切替スイッチをON/OFF設定で使用してください。（ON/OFFでの使用となります。）		P.12
	負荷切替スイッチが正しく設定されていない。	調光できない器具が接続されている負荷切替スイッチを設定しなおしてください。	P.12
	調光信号線がつながれていない。	調光信号線の配線を見直してください。	—
あかりがちらつく	電源が単相3線の場合で消費電力が1kW以上の機器がある。	その機器とは電源の相を分けてください。	—
	適合していない負荷が接続されている。	適合照明器具に交換してください。	P.4

■マルチ高機能調光タイプ（NQ28752W/S、NQ28732W/S）

現象	考えられる原因	処置	参照
子器が動作しない	伝送信号線の端子名と一致した箇所に接続されていない。	伝送信号線の配線を見直してください。	—
	伝送信号線と調光信号線が間違えて接続されている。	正しく結線しなおしてください。	—
子器のON/OFFボタンが点滅点滅し続けている	伝送信号線の「S+」と「S-」を間違えて接続している。	伝送信号線の配線を見直してください。	—
	伝送信号線と調光信号線が間違えて接続されている。	正しく結線しなおしてください。	—
本器2台が連動しない	伝送信号線が正しく接続されていない。	伝送信号線の配線を見直してください。	—